



# あま〜

Vol.  
121

2020.11.1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



広瀬川 night テラス



## 公共空間を楽しむまちづくり

- 「ミズベリング前橋～広瀬川河畔緑地社会実験～」を実施しました
- 「歩道空間オープンテラス社会実験」を実施中です

【トピックス】都市再生整備計画事業と土地区画整理事業との一体的なまちづくり

【投稿】富岡市都市と交通のマスタープランの策定について

マーチィ'sROOM ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊  
●マーチィ VOICE ファシリテーター紹介  
●マーチィの掲示板 「第4回まちづくり講演会」を開催しました

【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介

- マーチィの独り言





# 「ミズベリング前橋～広瀬川河畔緑地社会実験～」 を実施しました

前橋市 都市計画部 市街地整備課

## ■ 社会実験の概要

前橋市が令和元年9月に策定した官民協働のまちづくり指針である「前橋市アーバンデザイン」の中で、モデルプロジェクトの一つに位置付けられている広瀬川。その更なる賑わいにつながる河畔緑地の整備が動き出しています。

今回の社会実験「ミズベリング前橋」は、広瀬川河畔緑地の整備後の空間を実現するためにアメニティ(既存手摺へのカウンター取り付けや人工芝の敷設)を仮設し、皆さんに使っていただくことで得られたご意見などを実際の整備内容にフィードバックすることを目的として実施しました。また、遊休不動産を活用した「リノベーションまちづくり」の展示ブースを設けることで、市民の皆さんに前橋市の取り組みを知っていただく機会としました。



「ミズベリング前橋」ロゴ



既存手摺に取り付けたカウンター



誰でも使える人工芝エリア

## ■ そもそも「ミズベリング」って何？

「ミズベリング」とは、「水辺+RING(輪)」と「水辺+R(リノベーション)+ing(現在進行形)」を意味する造語であり、海辺や川辺といった水辺空間の新しい可能性を創造して地域を活性化させようとする全国的なプロジェクトの総称です。水辺が好きで、水辺を良くしたいという思いがある人なら、誰でも参加できるものです。

詳しくは→ <https://mizbering.jp> にアクセス！

## ■ 実施体制

今回は公共空間や民地を活用してキッチンカーを配置し、テーブル、イスなどを並べて飲食を楽しむイベントである「広瀬川 night テラス」(主催：広瀬川 night テラス実行委員会、ぐんま家守合同会社)を前橋市が後援す



る形を採りながら「ミズベリング前橋」を合わせて実施しました。コロナ禍におけるイベント開催ということもあり、ソーシャルディスタンスの確保やフィジカルな接触機会の低減といった感染防止対策に関する設えをイベントに反映するため、前橋市も同実行委員会に積極的に協力し、打ち合わせを入念に行いました。

## ■ 結果(社会実験とイベントの両面から)

約280件のアンケート結果からは、広瀬川というロケーションが高く評価されているだけでなく、仮設の手摺カウンターや人工芝エリアの満足度の高さ、またイベントの日常化を望む声が非常に多いことがわかりました。さらに、本市が取り組む「リノベーションまちづくり」についても好意的な意見が見られ、広瀬川河畔における賑わいのニーズは非常に大きいものであることを再認識する結果となりました。

また、キッチンカー事業者に対しては、現地の使用感や今後の整備に望むことを調査するためのアンケートに加え、社会実験終了後に本市と直接のヒアリング機会を設けることで、どういった場所に出店を希望するか、一回の出店でどの程度の収益を望むかといった事業者側のリアルな意見をお聞きすることができました。今回の社会実験によって得られたこれらデータの集積は、今後の河畔整備の参考になるものと考えています。

イベントとしては週末のみの7日間という限られた期間ではありながら、多くの集客が得られました。キッチンカーやテーブルなどを余裕を持って配置することで、広々とした会場レイアウトとなり、密集を避けた設えでの実施となりました。最大で6店舗が同時に出店を行った日もあり、日が落ちた後の広瀬川河畔にキッチンカーの明かりと共に、人々が集う光景は、今後の広瀬川活用の可能性を感じさせるものでした。

## ■ まとめ

「広瀬川 night テラス」には、前橋市の後援のほか、公益社団法人前橋青年会議所と前橋商工会議所青年部緑水会が共催として参加しました。今回のケースは、まちづくりに関わる複数のステークホルダーが官民の垣根を越えてつながりを持ち、連携を図りながら一つの催しを成功に導いた好事例となったと考えています。客観的なデータとニーズに基づいた整備はもちろんのこと、今後も引き続きエリア価値を高める取り組みを官民で連携しながら継続的に進め、民間による持続的・安定的なまちづくり活動につなげていくこと(=アーバンデザインの実現)を目指します。



イベントポスター



賑わい溢れる広瀬川！





# 「歩道空間オープンテラス社会実験」 を実施中です

群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム

## ■ 群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチームについて

令和元年度から、部局横断的な有志職員で構成される「群馬県庁官民連携プロジェクトチーム(以下、「PJチーム」)」を立ち上げ、民間の自発的な公共空間の利活用を誘導する「仕組みづくり」を始めました。昨年度は、桐生市内の県道を活用したマルシェ(社会実験)を開催し、実際の活用にあたっての課題整理やニーズ調査を実施しました(「おっ!!まっちい〜(Vol.115)」で紹介していますので、ご覧ください)。今年度も予定していた事業等がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、人が集まるような事業は、見直さなくてはいけなくなりました。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の支援及び“Withコロナ時代の新しい生活様式に対応したまちづくり”や“まちなかの暮らしを安心して楽しめる環境づくり”の実証を目的とした「歩道空間オープンテラス社会実験」を開始しました。



モリムラ珈琲店(桐生市)



おもひで横丁 なつかしや(太田市)

## ■ 事業概要

1. 実施期間 7/7(火)~11/30(月)
2. 対象者 商店街組合等の団体、飲食店等  
(1店舗単独で応募可能)  
※ただし、1店舗の場合は、自店舗前の活用を原則とする。
3. 対象路線 県管理道路において、占用後に2.0m以上の歩行空間を確保することが可能な区間。  
※歩行者が多い箇所は、3.5m以上の確保が必要。
4. 応募方法 社会実験用のWEB応募フォームから応募

## ■ 実施状況

社会実験の募集を開始したところ、4店舗と1団体(4店舗)の応募があり、11月末まで実施しています。PJチームは、応募を確認すると申請者とオンライン等による打合せを行い、道路占用許可(窓口：土木事務所)及び道路使用許可(窓口：警察署)の申請書の作成や申請手続き等の支援を行います。申請者にとって、行政手続きは何かが必要か分からないため、公共空間活用の大きな壁となっています。今回、申請手続き等の支援したことにより、応募からテラス営業まで2~3週間で行うことができました。

また、申請する際は、歩行者が多い通学時間帯を避けることや点字ブロックの必要幅を確保することなど、歩行者の安全を第一に考えた配置を考える必要があります。

## ■ 社会実験を通して

申請者の方の話を聞くと、今回の新型コロナウイルス感染症の流行により、大きな影響を受けており、現状をどうにかしたい!という強い気持ちが伝わってきました。この社会実験が、新しい生活様式に対応した営業形態の“きっかけ”となり、“まちなかの暮らしを安心して楽しめる環境づくり”につながることを期待しています。PJチームでは、今後も公共空間が楽しめる空間となるように事業制度の策定などを進めていきたいと思えます。

読者の皆さんも、感染症対策を十分に行い、新しい日常を楽しみましょう♪



PLUS+アンカー(桐生市)



居酒屋左門(桐生市)



新前橋商工会(前橋市)



# 都市再生整備計画事業と 土地区画整理事業との一体的なまちづくり

玉村町 都市建設課

玉村町文化センター周辺地区は、玉村町の中央部に位置し、東毛広域幹線道路の整備などにより、交通利便性に恵まれた地区になっています。

そんな立地条件を生かし、土地区画整理事業により、全236区画の新規住宅地を造成し、定住人口促進を図っています。また、区画整理区域内及び隣接した既存住宅街において、平成27年度から令和元年度にかけて、都市再生整備計画事業を活用し、一体的に良好な住環境を創出するための整備を行いました。主に、区画整理地区内の歩道・歩行者専用道路のインターロッキングブロック舗装や車道部の石畳風舗装、交通広場の整備などを実施しました。インターロッキングブロック舗装は、新規住宅地の分譲と合わせ、景観に配慮し歩きたくなる空間を創出しています。また、文化交流の拠点でもある文化センターへと導く導線の役割も果たしています。石畳風舗装は、既存住宅地内で実施しており、住環境の改善のため側溝の布設替えにより排水機能を改善し、情緒ある高質な空間を形成しています。さらに、路肩をカラー舗装にすることで、区画整理地区内にある文化センターへと導き、新規住宅地内と既存住宅地内の人たちのコミュニティが生まれ、情報の交換など様々な文化交流の場へと続いています。



石畳風舗装

## ■ 既存住宅地と新規住宅地の融合

新規住宅地に隣接する既存住宅地は、数社により開発が行われ道路と側溝の段差や排水機能が果たされていない箇所が見受けられるため、排水機能の改善と、情緒ある高質な空間を創設するため、石畳風の舗装を施し、外に出たくなるような空間を形成しました。新規住宅地内と既存住宅地内の人たちの交流が行え、様々な情報の交換などの場となることが期待されています。

また、石畳風舗装の路肩部分をカラー着色し、インターロッキングブロック舗装へと繋ぐことで、文化交流の拠点でもある文化センターへと導く導線の役割を果たしています。



インターロッキングブロック舗装

## ■ 新規住宅地内から公共交通の発着

新規住宅地内から公共交通の乗り入れを行い、住んでいる人の足となるべく、交通広場を整備しました。現在、町内の巡回乗り合いタクシー「たまりん」を廻しており、路線バスの乗り入れについても、調整中ではありますが、実現へ向け取り組んでいます。

公共交通においては、住民の利用だけでなく、文化センター利用者に向けての利用も視野に入れ、更なる文化交流が盛んに図れることが期待されています。



交通広場西



# 富岡市都市と交通の マスタープランの策定について

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、都市計画マスタープランの策定から10年が経過し、その間に富岡製糸場の世界遺産登録・国宝指定や人口減少と少子高齢化により市を取り巻く環境は大きく変化しました。そこで、上位計画である『第2次富岡市総合計画』の将来像である「世界遺産にふさわしいまち とみおか」の実現に向け、よりコンパクトで利便性の高いまちづくりを目指すための「立地適正化計画」と効果的・効率的な公共交通のネットワークの構築を目指すための「地域公共交通網形成計画」を合わせて、持続可能なまちづくりをより戦略的かつ総合的に推進することを目的とする一体的な計画「富岡市都市と交通のマスタープラン」を策定しました。

## ■ 総論

富岡市の現状等の把握・分析、まちづくりにおける課題・問題点の把握、3つのプランに共通する基本指針等を示しました。

## ■ 都市計画マスタープラン ～みんなが暮らしやすい土地利用・基盤整備のまちづくりプラン～

富岡市全域を対象に、暮らしやすく、バランスのとれた土地利用と基盤整備を効果的・効率的に進めるため、市全体および市内12地区ごとに土地利用と基盤整備の方針を示しました。

## ■ 立地適正化計画 ～みんながつながるコンパクトなまちづくりプラン～

都市計画区域を対象に“まちのまとまり”を維持するための方向性を示しました。  
ギュッとまとまったまち、便利で魅力的、みんなの顔が見えてコミュニケーションがとりやすいまちをつくるためのプランです。居住誘導区域と8地区に都市機能誘導区域、誘導施設の設定をし、市民の暮らしやすさと“まちのまとまり”の維持に向け、居住機能や都市機能の計画的な誘導を行うための方向性を示しました。

## ■ 地域公共交通網形成計画 ～みんなが自由に移動できる公共交通づくりプラン～

富岡市全域を対象に、自由な移動を支える公共交通の将来にわたる維持を目指し、地域の公共交通を一体として捉えたネットワークの再構築と今後の方向性を示しました。

市では、乗合タクシーの運行について、抜本的な見直しを図っており、現在の路線定期運行から事前予約で停留所間を運行するデマンド方式へ移行するとともに、様々なサービスを統合する富岡版MaaSの確立を目指しています。

今回のプラン策定に当たっては、平成30年度に策定委員会を立ち上げ、群馬県をはじめ関係機関のご協力により公表することができました。その間、令和元年東日本台風やコロナウィルスの感染拡大などの影響で公表までに遅れが生じましたが、結果的に時世を反映したプランに仕上がったと思っております。共通の目標を掲げる3つのプランを一つにまとめるにあたり、それぞれの視点から今後の市の方向性や将来像を掲げることができました。刻一刻と変わる社会情勢に対応できるようこの3プランに掲げるそれぞれの目標の実現に向けまちづくりを一層、推進して行きたいと思っております。



表紙

3つのプランの構成図



# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!



今号のおすすめ  
ライブラリー  
こちら!



まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
「福祉転用による建築・地域のリノベーション 成功事例で読み解く企画・設計・運営」  
著・編集：森一彦、加藤悠介、松原茂樹、山田あすか、松田雄二 ほか 出版：学芸出版社

近年、人口減少、少子高齢化による建物の空き家が急増する一方で、高齢者支援に加え障害者の地域移行、子育て支援などのための福祉施設の不足が進行しています。このような状況の下、新築に比べて低コストで空き家・空きビルを福祉的なサービス・機能に活用する「福祉転用」が注目されています。地域内のデッドスペースを利用者が主体となって利活用することで、地域共生や地域福祉につなげている先進的な事例も生まれています。

福祉転用は地域の实情に合わせて一つずつ丁寧にデザインしていくことが求められ、建築の技術だけではなく、企画・設計・運営にわたる総合的な調整能力が必要とされます。本書では、福祉転用実現のためのステップを企画・構想から計画・設計、運営まで10段階に分けて整理し、これから福祉転用に携わる方にも分かりやすい内容となっています。その他、国内での成功事例や制度・地域との関わり方、海外での考え方などヒントが盛りだくさんです。これから福祉転用による建築・地域のリノベーションを実践する方は、ぜひ一読ください。

## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

下仁田町 建設水道課 柳 圭一郎



柳 圭一郎さん(1番左側)



講座の様子

私は、平成30年度「魅力のあるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を受講したことを受け、令和元年7月に群馬県まちづくりファシリテーターに認定されました。受講のきっかけは、大学時代に所属していたゼミの天下先生が当講座の講師をしており、群馬県出身ということからお声をかけていただき、講座に参加しました。初回の講座に参加したときは、周りの方々が大人の人ばかりで緊張しましたが、グループワークなどでは、協力し意見を出し合っ

ていくうちに、次第に緊張もとけ、回数を重ねるごとに仲が深まりチームが一丸となって楽しく、内容の濃い講座を受講することができました。また講座では、いろいろな人の立場や目線の役割分担を決めて話し合いをするなど、実際のファシリテーターとしての雰囲気を感じることもできました。まち歩きでは、実際にまちを歩くことによって、その場所の潜在的な魅力や問題点などを肌で感じ、より質の高い意見や緊張感のあるグループワークを経験することができました。ファシリテーターはただ相手の意見を聞き出すだけではなく、課題に対して最終的な目標の設定や、限りあるワークショップの時間を有効に使うための時間配分、発言の少ない人の意見を引き出すことのできる雰囲気づくりなどが重要であることを学ぶことができました。実際にファシリテーションを行うときには、今回学んだことを生かしていこうと思います。最後に、今回の講座に参加したことで、事務局の皆様をはじめ、多くの市町村の皆様と交流させていただき、本当に楽しく、充実した時間を過ごすことができました。

※パートナーネットワーク講座は昨年度で終了しました。

## マーチィの掲示板

### 「第4回まちづくり講演会」を開催しました

公益財団法人 前橋市まちづくり公社 まちづくり推進課

前橋市まちづくり公社では、市民団体等が主体となったまちづくり活動の促進及び新たなまちづくりの担い手の発掘と育成を目的として、まちづくり講演会を開催しています。この度、4回目の開催となるまちづくり講演会が、令和2年8月21日(金)、前橋テルサ9階つづじの間で約40名の参加者を集め開催されました。



講師の松橋崇史先生



講演会の様子

講師には、拓殖大学商学部准教授でスポーツマネジメント、スポーツ政策を専門とする松橋崇史先生を招き、「これからのまちづくりにおけるスポーツの役割」と題し、「スポーツまちづくり」を切り口として、各地での事例紹介から、官民連携によるまちづくりの進め方、また、ウィズコロナ、アフターコロナと呼ばれる今後の社会情勢の中でのスポーツまちづくりの役割や変化等について、スライドを用いながらご講演いただきました。約70分間の講演を終え、参加者は今後のまちづくり活動のヒントやきっかけを今回の講演会から得られたのではないのでしょうか。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

前橋市まちづくり公社では、今後もこうした講演会等を通し、まちづくり活動の促進、啓発事業を進めて参ります。





# まちづくりイベント情報



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。 予めご了承ください。

## 第7回甘楽もみじウオーク

参加者には記念オリジナル缶バッジを配布！また、2か所のチェックポイントを周った方には道の駅甘楽の200円商品券と新商品「かんらちゃん焼き」無料引換券をプレゼント！

■11月15日(日)9:00~10:00受付

※チェックポイント14:00まで

■甘楽町小幡地内

【お問い合わせ先】

甘楽町産業課もみじウオーク係

TEL 0274-74-3131



## 観光ツアーアプリ「Spot Tour」

～ぬま旅／沼田かるた～

観光ツアーアプリ「Spot Tour」で沼田市の秋を満喫できる3コースを作成しました。スタンプを集めた方、各コース先着100名にノベルティをプレゼント。

■10月1日(木)0:00~11月30日(月)

23:59まで

■沼田市内

【お問い合わせ先】

ぬま旅コース(沼田市観光交流課)

沼田かるたコース(沼田市生涯学習課)

TEL 0278-23-2111



## 前橋駅前けやき並木通りオープンカフェ

けやき並木通りの緑あふれる美しい都市景観を活かしたオープンカフェ・オープンテラスの開始により、魅力あふれる公共空間を創出します！

■10月~11月末まで

(出店状況により異なります)

9:00~22:00

(出店状況により異なります)

■前橋駅前北口けやき並木通り

西側歩道部分

【お問い合わせ先】

(公財)前橋市まちづくり公社

まちづくり推進課

TEL 027-289-5565



## GTOプロジェクト 県庁前キッチンベース

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店を支援するため、県庁前にキッチンカーを配置し、お弁当の販売を行っています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

※G(Gunma)T(Takeout)O(O-en)プロジェクト

■毎週金曜日(祝日の場合、お休み)

11:30~13:00

■群馬県庁昭和庁舎前

【お問い合わせ先】

群馬県都市計画課

まちづくり室企画推進係

TEL 027-226-3661



## 光のページェント HiKARi MiRAi

シンボルタワーが贈る冬季限定のイルミネーションイベントです。

■11月14日(土)~令和3年1月11日(月・祝)

17:00~21:00

最終入場は20:30まで

■メイン会場 邑楽町シンボルタワー

【お問い合わせ先】

邑楽町役場商工振興課

TEL 0276-47-5026



## YAMAPコラボ企画 MT.GUNMAキャンペーン

県内5エリアにある山に登ると、YAMAPのアプリ内でバッジを獲得できます。さらに期間中に、3つのエリアの山に登ってアプリ内バッジを集めると、特製コラボピンバッジがもらえます。県内の山に登って、周辺の温泉やグルメも楽しんでください。

参考URL:<https://yamap.com/magazine/18168>

■9月24日(木)~11月30日(月)

※ピンバッジの配布は10/3(土)~

【お問い合わせ先】

(公財)群馬県観光物産国際協会

TEL 027-243-7273



## Xmas Music Night2020

バラエティ豊かな演奏家をお招きしクリスマス間近の夜に響き渡る、色とりどりの音色と歌声をお楽しみください。

■12月23日(水)19:00~21:00

(18:30開場)

■邑楽町中央公民館 邑の森ホール

【お問い合わせ先】

邑楽町教育委員会

生涯学習課

邑楽町中央公民館

TEL 0276-88-1177



## マーチの独り言



夏の暑さから一転、涼しくて過ごしやすい季節になりましたね。秋には食欲の秋・運動の秋・読書の秋...と色々な楽しみがありますが、遠出が難しい今年の秋はおうちで読書をして過ごしてみませんか？  
群馬県都市計画課では「おもしろまちうちライブラリー」というブースがあり、県内市町村職員の皆さん、まちづくり市民団体の皆さんをはじめ、まちづくりに興味・関心のある県民の方々へ図書・ビデオ等の貸出しをしています。知恵と作法がたくさん詰まっているライブラリーを利用して、この機会に自分の住む「まち」のことを考えてみてはいかがでしょうか。

**帝京大学 経済学部 観光経営学科**  
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- 観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- 旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- 実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日	※一般選抜1期1月30日(土)は、高崎試験場を含む地域試験場がございます。 ※出願方法はインターネット出願です。
※詳細は必ず「入学試験要項2021」をご確認ください。	一般選抜1期 2020年12月17日(木)~ 2021年1月20日(水)	【試験日自由選択制】 1月30日(土) 1月31日(日) 2月1日(月)	2月6日(土)	

八王子キャンパス広報グループ  
お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市子母大塚 359 URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp>

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>